



No. 4 1

平成29年12月1日

発行 多治見市教育研究所

URL:

<http://school.city.tajimi.lg.jp/kyoiku/>

本誌は、多治見市教育研究所ホームページ上でもご覧いただけます。

巻頭言

開校精神と3C 〈 Change Chance Challenge 〉

池田小学校 校長 小嶋 泉

「苟新」という言葉をご存じですか？

「コウシン」と読みます。見慣れない文字ですし、聞き慣れない言葉ですね。

明治6年3月、池田町屋村に多治見市立池田小学校の前身である学校が創立されました。この学校の名前を池田町屋村立苟新学校といいます。

池田町屋村の人々は、中国の古い書物である「大学」の一節「苟日新、日日新、又日新（苟（まこと）に日に新たに、日々に新たに、また日に新たなり）」より採って「苟新学校」と名付けました。当時の池田町屋村の方々の教養の高さと、学校教育にかける熱い思いや期待が伝わってきます。

この「苟新」という言葉は、池田小学校の私たちにとっては歴史の中に残る古い名前ではなく、建学の精神として現在に生きています。



「苟新」の像

かつて精華小の音楽室に「学ぶことは、変わること」と掲示してありました。正確な言葉までは覚えていませんが、学びは変化することと言い切った言葉は、若かった私には新鮮であり強く心に残っています。

学習によって、知らなかったことを知り、できなかったことができるようになることは、ま

さに変化することです。学習することで自分をどんどん変えていくことができる。なんて素敵なことでしょうか。私たちの周囲には、学ぶことはどれだけでもあります。つまり自らを変化させるチャンスは無限であるということです。そのことに気付いて、自ら挑むことが大切ですよね。しかし、その「学習は変化すること」を、私たち教職員は意識して児童生徒の指導に当たっているでしょうか。児童生徒に意識させるような指導をしているでしょうか。

今後20年間で現在ある職業の約半分はなくなると予想されています。大きく変化する世の中であって、自ら求めて努力して学ぶことは、より幸せな人生を築いていくために必要不可欠なことでしょう。学ぶべきことはそれぞれの職業や立場、その時々直面する問題や課題によっても尽きることはないでしょう。そして、自分の問題や課題解決のための学びによって、人生は大きく変化するのだと思います。人生を大きく Change する Chance に Challenge することの重要性は今後ますます増してくると考えられます。

私たちは教師として、日に日に新たな学びの中で、自らを常に変化させ成長させ続ける人でありたいと思います。そして、自ら求めて学び続ける次の世代を担う子どもたちを、育てていきたいと思います。

平成29年度 夏休み得意セミナー 教師塾セミナーから

今年度も夏休み子ども得意セミナーを開催しました。開催講座数は18、申込み総数のべ1236名、受講者は449名でした。

講座のなかに、今、注目の「将棋！」<初級講座>と<中級講座>があります。それぞれ2日間行いました。今年度は藤井聡太4段の人気の影響からか募集定員20名に対して、初級講座は63名、中級講座は30名の申込みがあり、それぞれ抽選により参加者を決定しました。



講座の2日目は、対局が行われ、子どもたちが真剣に将棋を指す姿がみられました。

参加した子どもの感想を紹介します。

将棋についての定跡だけではなく、歴史、詰め将棋、必至など幅広く教えて下さりとても楽しかったです。大会（対局）でも他の人と考え方を交流できてとても勉強になりました。（中級講座 受講者）

はじめて詰め将棋ができたので良かったです。それに、将棋の対局がたくさんできて楽しかったです。でも負けた方が多かったから、たくさんやって強くなりたいと思いました。（初級講座 受講者）

将棋以外の講座でも、子どもたちがいきいき活動する姿が多くみられました。講師や補助講

師を引き受けてくださった53名の先生方に改めて感謝いたします。

● 教師塾セミナー

教師塾セミナーは、幼稚園、小学校、中学校の教員のニーズを考えた14講座を開催しました。各園、学校からできる限りでの参加を働きかけ、227名の先生方の受講がありました。

特別支援教育の講座「やりがい発見！みんなで笑顔！！特別支援学級はじめのいっぽ！！」では、多くの方が熱心に研修していました。今年度は初めて特別支援学級の担任をされる方が多く、3人の講師の方の豊富な経験にもとづく話に耳を傾けていました。



研修後の感想の一部を紹介します。

時間割の組み方、とても参考になりました。4月から分からないことばかり…もっと早く知っていたらよかった！と思うことがたくさんありました。今後に活かします。実践で楽しい授業やSST（ソーシャルスキルトレーニング）を教えていただきありがたかったです。健康の保持の実践、ぜひ、まねしたいと思いました。

中学校の知的学級の実践は体験や生活と結びつけた楽しく役立つ指導で素敵でした。子どもたちの将来のことまで考えての指導を心がけたいと思いました。…（一部略）

教師塾セミナーに参加した多くの先生から、その内容がたいへん良かったという感想をいただいています。

土曜学習「わがまち 多治見 大好き講座」

7月 タイル

7月15日のわがまち多治見大好き講座は「タイル博士になろう2017」と題してモザイクタイル生産量日本一のタイルのまち笠原町にて行いました。

4つのグループに分かれて、以下の3つの内容を学習しました。

- ①タイル工場（カネキ製陶所）へ出かけ、原料がどうやってタイルになっていくののか実際に見学しました。ここでは、原料にさわらせていただくこともできました。



- ②モザイクタイルミュージアムでは、展示物を見ながらモザイクタイルの歴史を学びました。



- ③笠原中央公民館ではモザイクタイルの貼り加工を体験しました。ここでは、職人さんの話を聞いて、モザイクタイルがたくさん作られていることを実感しました。



9月 修道院

9月30日は「見て、聴いて、描いてふれる多治見修道院」と題して、昭和初期に建てられ、現在も美しい姿で市民に愛されている多治見修道院にて行いました。

教会の方の案内で、大聖堂を見学したり、パイプオルガンの演奏を聴いたり、庭園を歩いたりして、いいところをいっぱい見つけました。



その後、見つけたいいところを絵で表して、修道院の魅力を家族や友達に伝えました。絵を描くときには図工の先生からスケッチのこつを教えてくださいました。



多治見市音楽祭

小学校音楽祭

10月26日(木)にバロー文化ホールにて多治見市小学校音楽祭が行われました。

「多治見市の小学校の音楽教育の向上を目指し、音楽学習の成果を交流する。」こと及び「演奏、鑑賞を通して、音楽的感動を味わわせる。」ことを目的として、午前の部と午後の部に分けて全ての小学校が合唱や合奏を披露しました。

【午前の部】

- 1 南姫小学校4年生
「聖者の行進」「いつだって！」
- 2 脇之島小学校4年生
「茶色の小びん」「シーラカンスをとりにいこう」
- 3 根本小学校4年生
「猫ふんじゃったメドレー」「友だちだから」
- 4 全員合唱「つばさをください」
- 5 養正小学校6年生
「Happiness」「Wish～夢を信じて～」
- 6 北栄小学校6年生
「この星に生まれて」「木星」
- 7 滝呂小学校6年生
「ラバーズ コンチェルト」「奇跡」

【午後の部】

- 1 昭和小学校6年生
「ぶんぶんぶん」「ドラムマーチ」「大きな古時計」
- 2 市之倉小学校4年生
「子どもの世界」「小さな勇気」
- 3 池田小学校4年生
「僕らは大きな世界の一粒の命」
「風のメロディー」「歌のにじ」「豊年太鼓」
- 4 共栄小学校4年生
「It's a small world」「地球の命」
- 5 全員合唱「つばさをください」
- 6 精華小学校4年生
「チャレンジ!」「ルパン三世のテーマ」
- 7 笠原小学校6年生
「My Own Road」「メモリアル メドレー」
- 8 小泉小学校6年生
「ふるさと」「アラジンメドレー」



中学校音楽祭

「多治見市の中学校の音楽教育の向上を目指し、学習の成果を交流する。」こと及び「演奏する喜び、鑑賞する喜びを通して、音楽的感動を味わう。」ことを願って、11月10日(金)にバロー文化ホールにて多治見市中学校音楽祭が行われました。

今年度から午後のみで開催となり、保護者のみなさんに参観していただくことができませんでしたが、どの学校も素敵な合唱を披露しました。

- 1 全体合唱「夢の世界を」
- 2 陶都中学校 2年5組「青葉の歌」
2年3組「ヒカリ」
- 3 南ヶ丘中学校2年2組「翼をください」
「虹」
- 4 南姫中学校 2年生 「大切なもの」
「心の瞳」
- 5 多治見中学校2年生 「空駆ける天馬」
- 6 北陵中学校 2年2組「大切なもの」
「キミのもとへ」
- 7 小泉中学校 2年5組「時の旅人」
「心の瞳」
- 8 平和中学校 2年生 「時の旅人」
「今日は君の Birthday」
- 9 笠原中学校 2年生 「時の旅人」
「輝くために」



全員合唱の様子

学年合唱の様子



多治見市 初任者研修

7月21日に南消防署で普通救命講習及び地域防災訓練の研修を行いました。

普通救命講習は、運転免許取得時や職場の研修等で何度も受講している先生が多く見えました。戸惑いなく救命処置を施す姿や、真剣に訓練する姿が頼もしく見えました。

午後の地域防災訓練は雨天のため実際に排水機場などを見に行くことができませんでしたが、スライドの写真を使って研修を行いました。



初任研での救命処置の様子

「感謝と挑戦」

根本小学校 鷺飼 有子



「もう一度、教員として勤めたい。」退職して10年、自分の中にしまっておいた熱い気持ちが沸いてきました。職場の先輩、友人、家族等多くの方に背中を押していただき、再チャレンジすることになりました。

そして、この春、2度目の初任者として、根本小に勤務させていただくことになりました。知らない土地、わからないことばかりで不安だらけの毎日。「大丈夫?」「お子さんはどう?」仕事のことだけでなく、家族のことも気にかけて声をかけてくださる職場の先生方。「先生!あのね~」「きのう家でね~」毎日、いろいろな表情で元気な声をかけてくれる子どもたち。みなさんに支えられ、力を分けていただき、今日までやってこられました。本当に感謝!の毎日です。

これからも、いつも感謝と挑戦の気持ちを忘れず、毎日を大切に生きていきたいと思います。

初任の先生の紹介

「6ヶ月を振りかえって」

北栄小学校 小栗 茜



養護教諭として働きはじめ、6ヶ月が経ちました。期待と不安な気持ちを抱きながらスタートし、たくさんの先生方に助けられながら充実した生活を送ることができました。

今私が大切にしていることは、「子どもの話をよく聞くこと」です。保健室対応ではケガをした時の状況や問診など子どもから聞く情報がとても重要になります。「いつ・どこで・どのように」といった情報を正確に知るために抽象的な聞き方ではなく、「ズキズキする痛み?」など具体的な言葉で聞くことに気を付けています。また体調不良で来室する子の中には「教室にいきたくない。」などの心理的理由が隠れていることもあります。子どもたちの背景にある気持ちにも気付けるよう他の先生たちとの情報共有を大切にしています。

これからも先生方から学び、吸収し、感謝の気持ちを忘れずに成長していきます。

「半年間の振り返り」

根本小学校 浅井 麻友



私が学校に勤めはじめて、半年が経ちました。先生達の忙しさを毎日ひしひしと感じながら仕事をしています。

まさか学校で働くとは思ってもおらず、毎日新鮮なことばかりです。一般企業とは異なり、多数の職種の人が働いていま

す。支援員の方、校務員の方、配膳員の方、SSW、スクールガードリーダーなど…先生以外にも数多くの方の支えがあり、学校生活が成り立っているということに気付きました。私も小学生の頃、多くの方に支えられ楽しく過ごすことができたと感じています。

また、学校に事務職員は一人しかおらず、毎日不安と忙しさを押しつぶされそうでした。そんな毎日の中で、周りの先生や近隣校の事務職員の方に温かい言葉を掛けていただき、助けていただいて今があります。多くの方に支えられていることを忘れず、先生や子ども達が過ごしやすい学校環境を作っていきたいです。まだまだ分からないこともありますが、日々成長できるように努力していきたいです。

「生徒と共に」



小泉中学校 森下 勝史

この春に多治見市の教員となり、半年がたちました。わからないことも多く、授業や行事で忙しい毎日ですが、先輩の先生方に支えられて日々過ごしています。そしてこの半年間、多くの生徒と一緒に過ごす中で、2つのことを学びました。

1つ目は授業の大切さです。授業のねらいや構成について日々考え、実践していますが、その土台となるのは生徒が学びに向かう意欲だということを実感しました。1人1人が数学に対する意欲をもち、前向きに取り組むことのできる授業を目指していきたくと考えています。

2つ目は、対話の大切さです。2年生の担任となって、生徒との接し方に戸惑う場面もありましたが、日々生徒と向き合い、話をしていく中で、悩みや悔しさ、そして喜びや達成感を共有することができました。

忙しくても、失敗しても、常に生徒のことを理解し、共に歩む気持ちを忘れることなく、自分と生徒の成長につなげていきます。

「試行錯誤の半年間」



小泉中学校 祖父江 奈緒

教師になって半年が経ちました。授業が上手くいかずに悩んだり、学級内のトラブル対応が思うようにできず、時には涙を流したり悩んだりする日々をくり返しています。

しかし、「教師になってよかった!」と思える瞬間も沢山あります。私のクラスには、仲違いを繰り返している男子生徒2名がいました。この間、体育祭学級対抗競技である、「ハリケーンダッシュ」の練習中、今まで重ねていた努力が実り、最高記録を出すことができました。そのとき、二人が恥ずかしそうにハイタッチして喜んでいました。思わず涙が出そうになりました。これからも試行錯誤の毎日、思い悩むことがあると思います。ですが日々の子供たちの成長を信じ、愛情を注いでいきたいと思えます。

また私の学校には、親身になって話を聞いてくださったり、アドバイスをしてくださったりする先生方が沢山います。良い環境の中で働かせていただけることに感謝し、自分自身も成長していきたくと思います。

「生徒一人一人と向き合う」



南ヶ丘中学校 水野 祥子

4月から、1年生の学級担任を務めています。その中で感じることは、生徒一人一人に合う支援方法は異なるということです。

生徒は一人一人、性格や感じ方、考え方が異なります。誰一人として、同じ生徒はいません。そのため、その子がよりよい方向に歩むために必要な言葉かけも、働きかけも、異なると思います。

しかし、何がふさわしいのだろうと考える毎日です。私にできるのは、一人一人をよく見て、できるかぎり生徒を正しくつかむことです。

その中で気付いたことは、その子ならではのよさや頑張りです。今私が教員として一番“幸せだな”と感じることは、一人一人の頑張りを間近で見届けられることです。

今は未熟で、周りの先生方や保護者の皆さまに力をお借りする日々です。早く、生徒が前進していくための力を引き出せる存在になりたいと思っています。今後も生徒一人一人と向き合い、よさや頑張りを認め励ましていきたいと思えます。

「生徒と共に学ぶ1年目」



北陵中学校 廣瀬 翔太郎

私が教員として働きはじめ、はや6ヶ月あまりが経ちました。副担任として、自分に何ができるか考えながら過ごした6ヶ月でした。わからないことだらけで、失敗と反省ばかりの毎日でもありました。特に担当を

任された放送委員会では、4月はじめには役割を確実に果たせない子どもの姿がありました。それに対して委員会で子どもと共に話し合い、出したアイデアをもとに活動することで、今では4月に比べて、とても聞きやすい放送ができています。

子どもたちは日々成長しています。自分もその成長にわずかながら関わっている喜びとともに、「自分ももっと頑張ろう。」という気持ちが強くなりました。

今は副担任ですが、担任として学級を任されたときに、子どもの成長にもっと関われるように、先生方の動きを見て、聞いて、ともに活動することでたくさんのことを吸収し、1日1日を無駄にしないように、子どもと共に日々学び続ける教師でありたいと思えます。